

英語科学習指導案

単元名 「What am I?」わたしは何でしょう？

単元で育成する資質・能力の重点 主体性

1 日時 令和2年11月5日（木）第3校時 場所 知的障害特別支援学級T2教室

2 学年 特別支援学級（知的障害学級）

第2学年男子3名 女子2名 計5名

3 単元名

「What am I?」わたしは何でしょう？

4 単元について

(1) 単元観

単元は、「NEW HORIZON Elementary5」のCheck your step①の学習内容を応用させたものである。「What am I?」～わたしは何でしょう～と題し、各自がいくらかの自作のヒントを用意し、相手に問題を出し、応答を促すクイズ形式の学習形態をとっている。これまで繰り返し学習してきた自己紹介での表現や物や人の状態を表す形容詞、基本動作を表す動詞などを使うことで相手に伝わるのが感じとれることや日常生活に関わりがあるものについてゲームを通して聞いたり、応答したりする体験的な活動を通して、生徒が外国語に興味や関心をもったり、外国語の音声に慣れ親しんだりすることをねらいとしている。

(2) 生徒観

本学級は、第2学年男子3名、女子2名、計5名の生徒が在籍している。明るく、元気な生徒が多く、いろいろなことに意欲的に取り組む雰囲気がある。

今年度当初から、英語科において毎時間教師の英語をくり返して発音したり、毎時間繰り返し聞いたりしている表現については概ね英語で答えられるようになっている。アルファベットや簡単な単語は見ながら書くことができ、平易な英文であればノートに書いた英文をプリント等へ書き写すことはできる。また、自分の興味のある生物などについては、英語でどう表現されるのか辞書を使って調べ、発音したりしている。平均的にみると概ね小学校中学年程度の学力である。

生徒Aは、男子で自閉的な傾向がある。自信が持てないことが多く、指導者の表情を伺うことが多々ある。全体に指示したことを理解していないことが多いため、個別に再度指示するなどの支援が必要である。文章を読んで理解することが困難でまとまりのある文章を書くことができない。自分の意思を相手に伝えることが難しく、苦手意識がある。嫌なことを嫌と言えないこともあり、抱え込んでしまう傾向にある。書いてあることをクラスの前で発表することにもかなり時間がかかる。

生徒Bは、男子で小学校時に精神発達遅滞との連携を受けており、診断はでていないが多動でADHD傾向がある。学習意欲は旺盛であり、真面目に取り組むことができる。積極的に活動的な面が多くみられる。思いを口頭で表現することはできるが、周囲に対してきつい言葉で注意することが多く、トラブルの原因になることが多い。まとまりのある文章を書くことには苦手意識を持っている。

生徒Cは、女子で今年度より特別支援学級に編入となった。小学校1、2年次にも支援学級知的障害クラスに在籍していた経緯がある。多人数の場に出ることが苦手で、周囲の目を気にするあまり交流学級で給食を食べることができない。学習面では、これまで不登校傾向があったため授業は真面目に頑張れるが、学習の積み上げができていない。生活面でも経験不足の為か自分に自信が持てていない。出席の数だけ遅刻があり、1週間の内1～2日は欠席するパターンになっている。

生徒Dは、男子で自閉的な傾向がみられる。性格は優しく一生懸命であるが、集団の中での周囲との関わりが苦手である。嫌なことには嫌と言える。時々ふざけることがあるが、任せられた仕事は、責任をもってやることができる。学習面では、マイペースで時間をかければできるが文章をかくことが苦手である。交流学級での授業には参加できている。

生徒Eは、女子で保護者となる祖父母が外国籍である。性格は明るく、優しい。本人は

生活に必要なことは話せるが、相手が言った言葉の意味や内容が理解できていないことが多い。話の全容を理解することを途中で諦めたり、会話が成立しなかったりすることもよくある。学習面では、集中して話を聞くことが難しく、内容の理解ができないため、個別に再度確認するなどの支援が必ず必要となる。小学校低学年程度の学力で、漢字の読みは困難で、配付物やテストなどはふりがなを打つことで対応している。文章はひらがなで書くことが多い。気持ちが前向きな時と、元気がないときの差が大きい。

(3) 指導観

興味関心のある内容については意欲が持続するため、導入段階より個別に対応し、課題解決に向けての見通しをつけさせたい。最終的に発表に至るまで、調べたことについて自信をもって仲間の前で発表できるように発話等繰り返し練習させたい。パワーポイントを用いた発表ができるように作業の時間とも連携して、各々理解度や作製進度が異なっているため、時間をとって個々のペースで準備をさせていきたい。

個別の支援は次のとおりである。

- 学習した英語表現を用いて自信をもって聞き手に伝えることができる。
- 話し手の話す簡単な英語を聞いて、それが表す事物の状態や特徴を理解し、英語の単語や動作などで応じることができる。

【個の支援】

- 生徒A 事前に準備したワークシートを用いて表現の仕方を支援する。
- 生徒B 分からない表現があれば、キーワードを与えて推測させる。
- 生徒C 発表の際、ワークシートを用いて自信を持って発表させる。
- 生徒D 分からない表現があれば、キーワードを与えて推測させる。
- 生徒E ヒントを与えながら、内容を概ね理解させるように支援する。

5 単元の見目標

- 興味・関心がある分野の事物について英語での意味や表現を知る。
- 学習の中で理解した英語表現について自信をもって相手に伝えることができる。
- 相手の話す簡単な英語を聞いて、それが表す事物の状態や特徴を理解し、英語の語や動作などで応じることができる。

6 単元の評価規準

アコミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ外国語表現の能力	ウ外国語理解の能力	エ言語や文化についての知識・理解
① ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じている。	① 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語など基本的な表現を使って伝えようとしている。	① 身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結びつけることができる。	① 基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを理解している。

7 本単元で育成したい資質・能力の評価基準

本単元で育成したい資質・能力	「主体性」
達成時の生徒の具体的な姿	自ら自信をもって前に出て発表することができる。
本単元の指導で工夫する点	自ら自信をもって発表ができるように繰り返し練習を行う。
努力を要する生徒への手立て	指導者の選択肢をもとに、形容詞や動詞を使った表現を理解させ、自ら選択させる。

8 指導と評価の計画

(全6時間)

次	学 習 内 容	評 価				評 価 規 準	評 価 方 法
		関	考	技	知		
1	伝えたいものを選んで、英語でどう表現するのか知ろう。			○		身近で具体的な事物に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結びつけることができる。	行動観察 プリント
2	クイズを出題するために必要な言葉の意味を調べよう。状態を表す言葉を調べよう。				○	基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを理解している。	行動観察 プリント
3	クイズを出題するために必要な言葉の意味を調べよう。動作を表す言葉を調べよう。				○	基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを理解している。	行動観察 プリント
4	相手に伝わるように工夫しよう。声や表情、スピードを意識して相手に伝える練習をしよう。		○			日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語など基本的な表現を使って伝えようとしている。	行動観察 プリント
5	相手に伝わるように工夫しよう。リハーサルをしよう。	○	◎			ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じている。 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語など基本的な表現を使って伝えようとしている。	行動観察 発表
6	クイズを出して答えてもらおう 本時（6/6）	○	◎			ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じている。 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語など基本的な表現を使って伝えようとしている。	行動観察 発表 プリント

9 本時の学習

(1) 本時の目標

クイズを出して答えてもらおう

(2) 生徒の実態と目標（個人の目標）

生徒	生徒の実態	目標
生徒 A 2年	<ul style="list-style-type: none"> 療育手帳B判定 学級の仲間や慣れた相手とはある程度話すことができるが、たくさんの人の中や慣れない相手には自信を持って話ができなかったり、話しかけにくかったりする。 何かを作ることに集中できる。教科の学習の際に、周囲の様子が気になり、注意散漫になり集中できないことがある。持続が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に用意したワークシートを見ながら自信をもって前に出て話すことができる。 聞き手の方を見て、伝えようとするすることができる。 話し手の方を見ながら聞き、指導者の手がかりをもとにクイズの内容を概ね理解することができる。
生徒 B 2年	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着きのない行動が目につく。緊張などすると少しパニックになる。 集中して話を聞くことは難しいが、指示したことはできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 覚えている表現はメモを見ないで自信をもって発表することができる。 聞き手を意識して、分かるように伝えようとするすることができる。 分からない時や困った時には、友だちや指導者に助けを求めるこ

		とができる。 ・話し手の方を見ながら聞き、その内容について特徴となるキーワードから答えを推測することができる。
生徒 C 2年	・情緒・行動面に於いて、学級の中では、自分の思いを言えるが、交流学級の中では周りからどう見られているのかが気になり、交流学級での集団活動への参加が難しい。	・事前に用意したワークシートを見ながら間違いを恐れず自信をもって前に出て話すことができる。 ・聞き手を意識して、分かるように伝えようとするすることができる。 ・分からない時や困った時には、友だちや指導者に助けを求めることができる。 ・話し手の方を見ながら聞き、その内容について特徴となるキーワードから答えを推測することができる。
生徒 D 2年	・行動面に於いて、時々集中力が切れるが、活動は最後までやり切ることができる。 ・学習した文字を使ったり支援を受けたりしながら自分の思いを文章にすることができる。	・事前に用意したワークシートを見ながら自信をもって前に出て話すことができる。 ・聞き手を意識して、分かるように伝えようとするすることができる。 ・分からない時や困った時には、友だちや指導者に助けを求めることができる。 ・話し手の方を見ながら聞き、その内容について特徴となるキーワードから答えを推測することができる。
生徒 E 2年	・学習面に於いて、集中して話を聞くことは難しく、内容の理解が難しい。説明し指示したことはできる。平仮名は、書き順が間違っているものもあるが全部書くことができる。漢字の読み書きは難しい。 ・注意集中に於いては、好きなことは、少し集中することができる。他に気が散りやすい。指示があれば注目できる。	・事前に用意したワークシートを見ながら自信をもって前に出て話すことができる。 ・聞き手の方を見て、伝えようとするすることができる。 ・話し手の方を見ながら集中して聞き、指導者の手がかりをもとにクイズの内容を概ね理解することができる。

(3) 資質・能力育成のポイント

自信をもって前に出て発表することができるようにするために、繰り返し練習を行う。-

(4) 準備物

教科書、ノート、ワークシート、パソコン、モニター、pp、ふりかえりカード

(5) 本時の学習の展開

	主な発問と学習活動	教師の働きかけ	
		指導上の留意点(◇)・支援(*)	評価(◎) [方法]
導入 10分	1. あいさつを行う。 2. Q & A Q: Are you ~? A: Yes or No. 3. 学習課題を確認する。	・明るい雰囲気の中で授業が進められるよう心掛ける。 ・PPを使用する。	アイコンタクトやクリアーな声で反応している。
		クイズを出して答えてもらおう	

展開 35分	<p>4. 宿題の確認をする。</p> <p>5. 初めに指導者の発表（クイズ）を聞いて、答える。</p> <p>6. クイズを出題する。</p> <p>クイズに対して答える。</p> <p>7. それぞれのクイズの内容についてPPで確認する。</p>	<p>・答え方の確認をする。 ・評価をあたえる。</p> <p>一人ずつ前に出て出題する。</p> <p>・答えようと努力していることを評価する。 ・答えにはポイントがありポイントに応じてステッカーを与える。</p>	<p>本番用のクイズ(行動)を書いて用意している。</p> <p>クイズに対して単語や動作で反応する。 (表現の技能)</p> <p>答えの特徴となる英文を表現する。 (表現の技能) (意欲関心態度)</p> <p>単語や動作で答えている。 (理解の能力) (表現の技能) (意欲関心態度)</p>
まとめ 5分	<p>8. 本日の学習について振り返る。</p> <p>9. 次回の学習について確認する。</p>	<p>シートに書いた内容を確認することで、学習内容を振り返ることができるようにする。</p> <p>宿題と次回の学習について連絡する。</p>	<p>振り返りシート</p>

(5) 板書計画

本日のめあて

クイズを出して答えてもらおう

- 授業の流れ
- ①あいさつ
 - ②課題確認
 - ③宿題確認
 - ④クイズ
 - ⑤振り返り

ルール

- ・相手が話しているときは、最後まで聞く。
- ・答えるときや分からない時は手を挙げる。
- ・相手の目を見て、話をする。

--	--	--	--	--	--	--	--	--